



NEWS RELEASE

報道資料

2009年7月2日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ 米下院による温暖化対策法案の迅速な可決を歓迎、
上院での速やかな法案成立に期待

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq: AMAT、本社: 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 6 月 26 日 (現地時間)、米下院が「米クリーンエネルギー・安全保障法案」(ACES) を可決したことを歓迎する声明を発表しました。

太陽電池製造装置最大手アプライド マテリアルズの会長兼 CEO マイケル・スプリンターは、次のように述べています。「この法案は、60 年代に議会が宇宙計画への財源確保を可決して人類の月面着陸を目指したことに匹敵するもので、米国がクリーンエネルギーに真剣に取り組み始める真の転換点となるでしょう。経済や環境に与える影響の大きさを考えれば、下院史上でも非常に重要な法案のひとつとなることは間違いありません。米国は全世界のリーダーシップをとって地球の気候を守ることをはっきりと宣言したのです」

「ペロシ下院議長、ワックスマン下院エネルギー・商業委員長、そしてマーキー下院エネルギー・環境小委員長は、この『クリーンディール』法案の下院での可決に向けてたゆまず努力し、リーダーシップを発揮してこられました。その結果、米国は低カーボン経済への変革の道を歩もうとしています。クリーンエネルギーは今後多くの雇用を創出し、膨大な経済機会をもたらすうえ、情報・コンピューター革命をも上回る大規模なエネルギー革命を後押しする可能性も秘めています」(スプリンター)

「この法案では『キャップ・アンド・トレード』制度の議論も重要ですが、再生可能エネルギーの生成に関する国内基準を設けることの重要性も見逃せません。温暖化ガスの本格的な排出規制が実現するまでにはまだ長い年月を要しますが、この法案はその前に、再生可能エネルギーの利用をすぐにも増大させる財政的な仕組みを設けることを目指しています。これにより気候変動をもたらす排出が抑制され、グリーン経済への大規模な投資を促進します。私たちは本日この法案が下院を通過したことに大きく勇気づけられるとともに、年内にこの法案が成立するよう、上院からも同様の努力を期待しています」(スプリンター)

アプライド マテリアルズは、今すぐ使えるソーラー発電技術を通して将来の経済成長を促進することを目指しています。アプライド マテリアルズは、ウェーハベースの結晶シリコン太陽電池パネル製造装置や、世界最大の太陽電池パネルを製造できる革新的な一貫生産ライン SunFab™ Thin Film Line により、ソーラー発電の低価格化と大規模化を推進しています。この SunFab 製造ラインにより、アプライド マテリアルズはウォールストリートジャーナル紙から 2008 テクノロジー・イノベーション・アワードを受賞しています。アプライド マテリアルズは半導体業界やフラットパネルディスプレイ業界での 40 年に及ぶ革新的な製造技術の経験を活かし、エネルギーと環境の分野にも事業範囲を拡大しています。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

このリリースは6月26日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：渡辺徹）は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 12 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
社長室：大橋 百合（Tel: 03-6812-6801 / Fax: 03-6812-6831）
ホームページ：<http://www.appliedmaterials.com>
